旧街道・稲荷山

善光寺街道の商都探訪

重要伝統的建造物群保存地区

かつて北信濃の商都として栄えた商いの町、稲荷山。その名残である大壁造りの町家や土蔵が立ち並び、黒い大屋根やなまこ壁も見ることができます。壁や建物などの建築方法もその表情は様々で、見事な技や伝統、歴史を感じることができる町です。

蔵などが立ち並ぶ　たまち蔵道

整然とした石垣上に下見板（したみいた）のある土蔵群が連なる。商都として発展した稲荷山では、表通りから裏通りまでいろいろな建造物が見られる。往時の繁栄の様子がうかがえる景観。

どっしりした壁

秋の風情 龍洞院

レトロモダンな建物も多い

ニホン独自の土の壁やレトロモダンな建物をじっくり見てね

知ればもっと楽しくなる
街並ウォッチングアドバイス

多様な建築群が今も残る稲荷山

稲荷山は平成26年に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。長野県内に7地区しかない保存地区のうちの一つです。善光寺街道の宿場町として成立し、19世紀初期以降商家町として繁栄。街道に沿って多様な形式の主屋が立ち並ぶ特徴的な町並みが今でも残っています。敷地は街道に面して短冊形に割られ、前面に主屋、裏通りには土蔵が建ち並び土蔵の間に門が構えられています。

豪商の象徴、蔵の町

善光寺街道の面影残る『重要伝統的建造物群保存地区』ウォッチング

幕末から栄華の歴史を刻む蔵の土壁、漆喰壁が美しい。
その色調が落ち着いた佇まいを醸し出し歴史を感じさせる。

土壁は最高の防火建築

防火・耐火に優れた土蔵は、土壁の上に漆喰総塗籠（しっくいそうぬりごめ）とするか、各種板張りとされる。また平瓦を張り、漆喰を板蒲鉾のように盛って固める海鼠（なまこ）壁などもある。また防火目的のための「うだつ」は商家が裕福であることの象徴となり、競い合って立派なうだつを作らせた。「うだつが上がらない」とは、「生活が向上しない・見栄えがしない」などの意味の慣用句として残っている。

壁の厚さは30cmはあり、窓などの開口部は小さい。また、壁や瓦に「水」の字を書いたり、魚の形を模して飾りをつくったりするのも、水の神通力にすがり火災から建物を守る火伏せのまじないである。

板張り

なまこ壁

モルタルやコンクリートなど

火伏せの「水」文字

壁は厚く、開口部は小さい

旧高村家のうだつ

主なイベント

※日程等変更となる場合がございます。

治田公園桜まつり

咲き誇るソメイヨシノは圧巻。幻想的な春景色が広がる。

■期間／4月上旬～中旬頃
■場所／治田公園
■お問合せ／千曲市観光課
☎026-273-1111（内線3291）

稲荷山祇園祭

五穀豊穣と繁栄を祈願する治田神社をよりどころとする夏の祭。

■期間／7月中旬～下旬
■場所／稲荷山

信州南北を結ぶ物資の集積地

北国西街道（善光寺街道）と谷街道

ほっこくにしかいどう　ぜんこうじかいどう　たにかいどう

善光寺詣りの街道、北国西街道と商業の道、谷街道
江戸時代からの信州の主な街道。

北国西街道、善光寺への旅

北国西街道は中山道から洗馬宿で分岐し松本を経由して善光寺へ向かう道で、別名で善光寺街道とも呼ばれていた。
江戸時代より善光寺参りの道として知られ、多くの参詣者がこの街道を利用。また千曲川の対岸には北国街道が設置されていたこともあり、稲荷山宿は物資の集積地として繁栄し、街道沿いで一番の宿場町として発展を遂げた。「歴史の道百選」に選定されている。

物流の道、谷街道

稲荷山を起点に千曲川東岸を北上して飯山に至る街道を「谷街道」といい、宿場制度の街道・往来ではなかったが物資が多く行き交い発展した。近代に入り、鉄道が整備されるまで流通の繁栄が続いた。
谷街道起点の標識が、稲荷山郵便局の前にある。